

高屈折率ポリマーの 分子設計、合成手法と屈折率の測定方法

- ◆日時：2025年10月21日(火) 10:30~16:30
- ◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆聴講料：1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 - ・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,500円(税込)**
 - ・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で55,000円(税込))**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：関西大学 化学生命工学部 化学・物質工学科 教授 工藤 宏人 氏

ポリマーの屈折率は、ローレンツ・ローレンツの式で表されるように、ポリマーを構成する分子屈折率と密度に依存される。ポリマーの屈折率を上昇させるには、分子屈折率の高い元素をポリマーに付与すればよい。また、屈折率の測定方法は、アッペ屈折計による方法、エリプソメーターによる方法、プリズムカップラーによる方法と、三種の方法がある。このことは、高屈折率材料を応用する用途により、測定方法を選択する必要がある。高屈折率材料をどのような用途に応用し、それはどのような分子設計をすべきなのかを、ポリマーの合成法から解説する。

<p>1. ポリマーの屈折率の測定方法</p> <p>1-1 屈折率の原理</p> <p>1-2 アッペ数</p> <p>1-3 測定方法</p> <p>2. 高屈折率ポリマーの開発例</p> <p>2-1 プラスチックレンズ材料の開発例</p> <p>2-2 スtrandの作成方法</p> <p>2-3 マイクロレンズへの応用</p> <p>3. 含硫黄ポリマー</p> <p>3-1 合成法</p> <p>3-2 性質</p> <p>3-3 屈折率制御</p> <p>4. 特殊構造高分子とそれらの物理的特性</p> <p>4-1 ケイ素元素を有する高密度なポリマーの合成</p> <p>4-2 屈折率特性</p>	<p>5. 高アッペ数ポリマーの分子設計</p> <p>5-1 原理</p> <p>5-2 分子設計方法</p> <p>6. 含テルルポリマーの合成と屈折率特性</p> <p>6-1 合成法</p> <p>6-2 屈折率と性質</p> <p>7. 含ヨウ素ポリマーの合成と屈折率1.8以上の マイクロプラスチックレンズ材料の可能性</p> <p>7-1 合成法</p> <p>7-2 屈折率と性質</p> <p>8. 屈折率変換材料の開発</p> <p>8-1 合成法</p> <p>8-2 屈折率変換の原理</p> <p>8-3 測定</p>
--	--

『高屈折率ポリマー【WEBセミナー】【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 Eメール 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル7階
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <https://www.rdsc.co.jp/>